

## 旭川・紋別自動車道（遠軽～上湧別間）の計画について 地域の意見聴取を実施します

～皆さまの御意見をお聞かせください～

網走開発建設部では、旭川・紋別自動車道（遠軽～上湧別間）の計画について、地域の皆さまや道路を利用される方からの御意見を道路計画に反映するため、アンケート及びヒアリング調査を行いますので、御協力をお願いします。

### <地域の意見聴取概要>

遠軽～上湧別間のルート検討に当たり、重視すべき点や配慮すべき点についての御意見をお伺いします。

#### (1) アンケート調査

調査票 紋別市、佐呂間町、遠軽町、湧別町の各自治体にお住まいの各世帯に調査票を配布いたします。

4自治体の市役所・役場及び道の駅（オホーツク紋別、サロマ湖、まるせっぷ、しらたき、遠軽森のオホーツク、かみゆうべつ温泉チューリップの湯、愛ランド湧別）に調査票を備え付けます。

#### 回答方法 ①返信用はがきによる回答

・最寄りの郵便ポストへ

・紋別市役所、佐呂間町役場、遠軽町役場、湧別町役場及び

道の駅（オホーツク紋別、サロマ湖、まるせっぷ、しらたき、遠軽森のオホーツク、かみゆうべつ温泉チューリップの湯、愛ランド湧別）の回収ボックスへ

#### ②インターネットによる回答（網走開発建設部HPからアクセスできます）

・URL [https://www.hkd.mlit.go.jp/ab/douro\\_keikaku/icrceh000000557q.html](https://www.hkd.mlit.go.jp/ab/douro_keikaku/icrceh000000557q.html)

実施期間 令和2年10月19日（月）から令和2年11月13日（金）まで



#### (2) ヒアリング調査

関係自治体や関係団体、事業者の皆さまにインタビュー形式のヒアリングを実施します。

【問合せ先】 国土交通省 北海道開発局 網走開発建設部

道路計画課 課長 阿部 英樹 0152-44-6510（直通）

道路計画課 道路調査官 古屋 利章 0152-44-6479（直通）

網走開発建設部HP <https://www.hkd.mlit.go.jp/ab/>



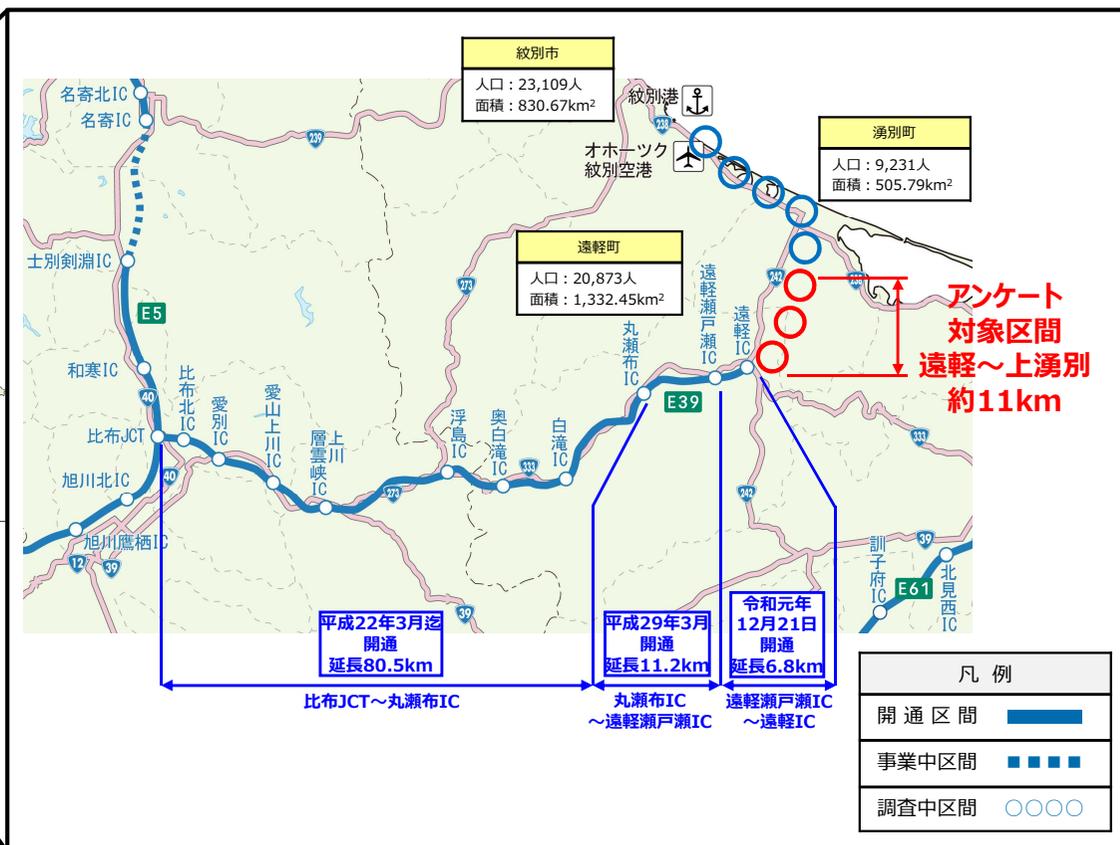
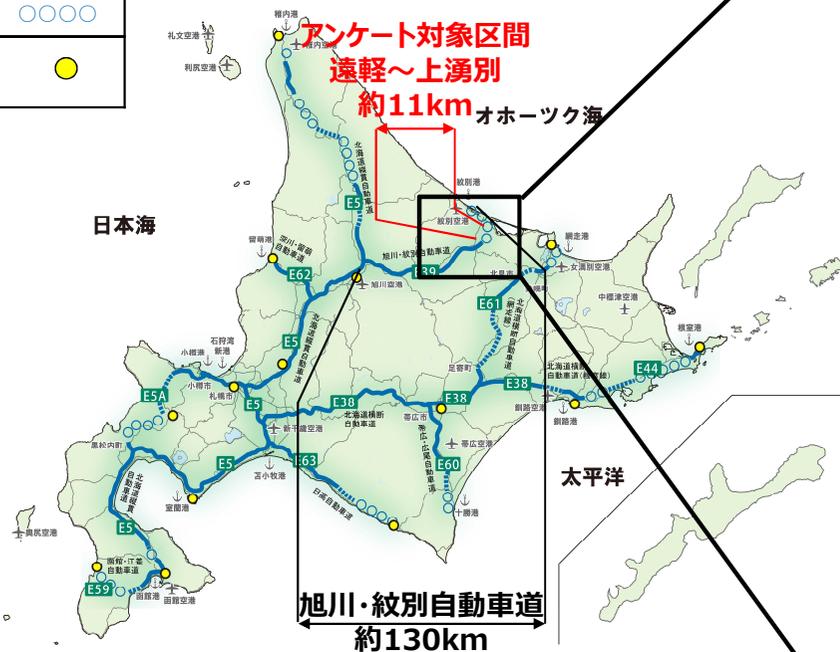


# 旭川・紋別自動車道（遠軽～上湧別）における 道路計画に関する第2回アンケート調査

- 旭川・紋別自動車道は、比布町を起点として愛別町、上川町、遠軽町等を経由し、紋別市へ至る延長約130kmの一般国道の自動車専用道路です。
- 本アンケートは、旭川・紋別自動車道のうち、遠軽～上湧別間の計画検討にあたり、計画づくりの初期段階から地域の皆様へ情報提供を行うとともに、広くご意見をお聞きし、それを計画に反映していくための取組として実施するものです。
- 今年の2～3月に実施しました第1回意見聴取では、地域の皆様が日頃感じておられる地域の課題や、必要な道路機能等について、ご意見を頂きました。ご協力、ありがとうございました。
- 今回の第2回意見聴取では、ルート検討にあたり、重視すべき点や配慮すべき点についてお聞きします。アンケートにご協力いただきますよう、よろしくお願いいたします。

## ■本アンケートでは、遠軽～上湧別間の計画についてお伺いします。

凡例	
開通区間	
事業中区間	
調査中区間	
総合振興局 振興局	



凡例	
開通区間	
事業中区間	
調査中区間	

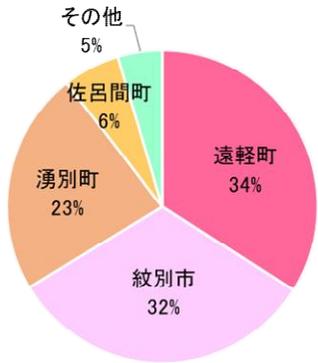
資料：人口は平成27年国勢調査（総務省）、面積は平成30年全国都道府県市区町村面積調（国土地理院）

# 第1回アンケート調査の結果

アンケートには、地域の住民や道路を利用される方などから、6,452件の回答をいただきました。

## 回答者の居住地、年齢、運転頻度、遠軽～上湧別間の利用頻度、利用目的

### ■居住地



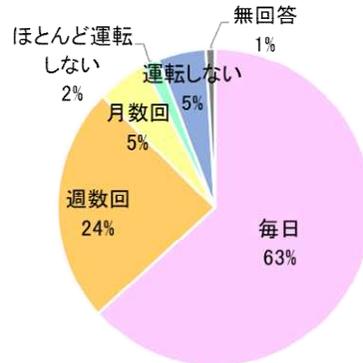
総回答者数 N=6,452

### ■年齢構成



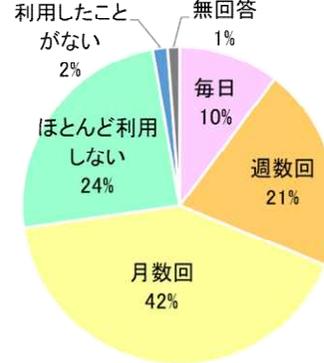
総回答者数 N=6,452

### ■自動車の運転頻度



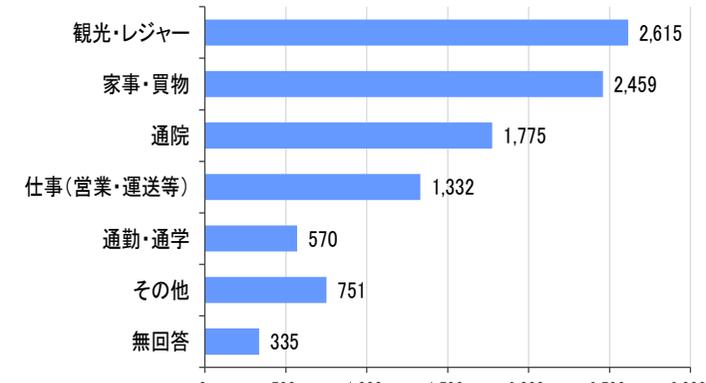
総回答者数 N=6,452

### ■遠軽～上湧別間の利用頻度



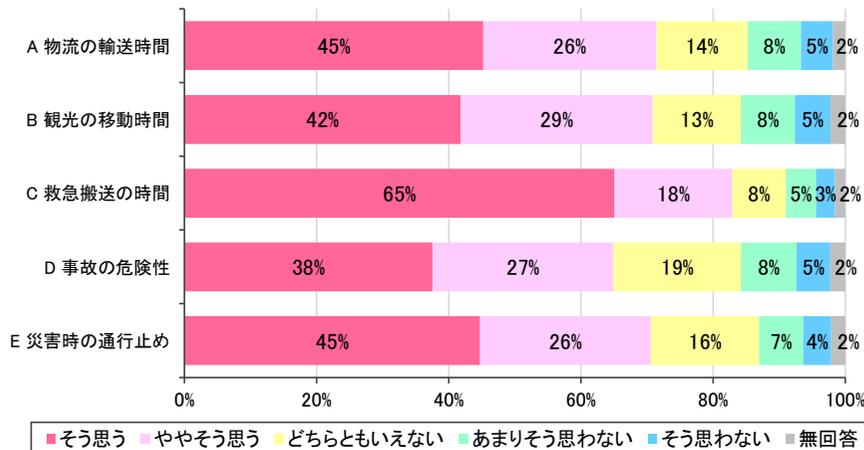
総回答者数 N=6,452

### ■遠軽～上湧別間の利用目的



総回答者数 N=6,452

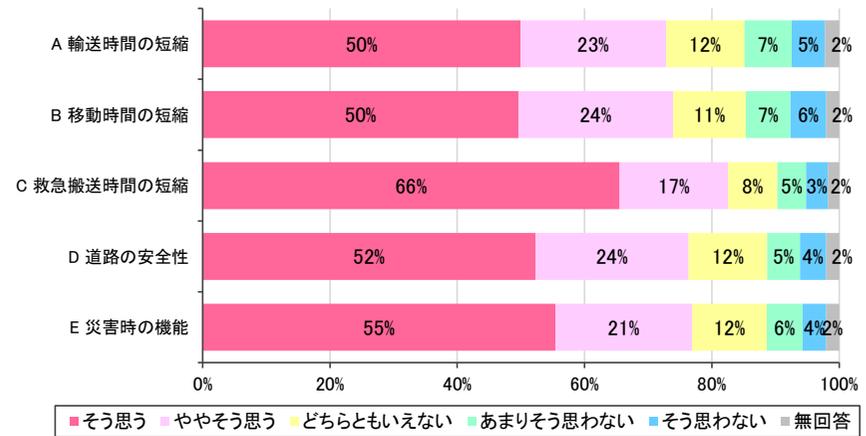
## 将来を見据えた地域の課題



総回答者数 N=6,452

将来を見据えた地域の課題は、特に救急搬送の時間や、物流の輸送時間、災害時の通行止めが課題であるとの回答をいただきました。

## 遠軽～上湧別間に必要な道路機能



総回答者数 N=6,452

遠軽～上湧別間においては、特に救急搬送時間の短縮、災害時の機能確保、道路の安全性向上が必要であるとの回答をいただきました。

# 第1回アンケート調査の結果

## ヒアリング調査

ヒアリング調査では、沿線自治体や各団体から39件の回答をいただきました。

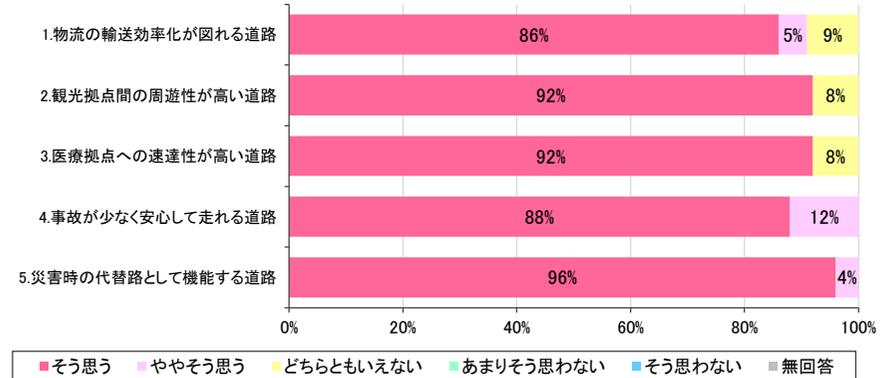
### 将来を見据えた地域の課題

項目	自治体	商工会議所 商工会	農協・漁協 森林組合	運輸	バス・観光	病院 消防組合
1.物流の輸送時間	○	○	○	○	-	-
2.観光の移動時間	○	○	-	-	○	-
3.救急搬送の時間	○	○	-	-	-	○
4.事故の危険性	○	○	○	○	○	○
5.災害時の通行止め	○	○	○	○	○	○

総回答者数 N=39

将来を見据えた地域の課題においては、特に事故の危険性、災害時の通行止めが課題であるとの回答をいただきました。

### 遠軽～上湧別間に必要な道路機能



総回答者数 N=39

遠軽～上湧別間においては、特に災害時の代替路として機能する道路、事故が少なく安心して走れる道路が必要であるとの回答をいただきました。

## 第1回アンケート調査のまとめ

- 多くの道路関係者や各団体の皆様が地域の課題に対して道路整備の必要性を感じています。
- 特に、速達性の高い救急搬送、災害時の代替路確保、道路の安全性向上等について多くの回答をいただきました。

頂いた意見を踏まえ政策目標を設定しました

### 遠軽～上湧別間に必要とされる政策目標

安全かつ効率的な物流ルート確保による  
地域を支える基幹産業の生産性の向上の支援

定時性や速達性の確保による  
周遊観光促進の支援

救急搬送の速達性・安定性向上による、  
地域の安心できる暮らしの支援

災害発生時の国道の機能確保

# 課題解決のための対策案

○第1回地域意見聴取で地域の課題、遠軽～上湧別間に必要な道路機能について確認したことから、政策目標の達成に必要な機能と配慮すべき事項等を踏まえ、以下のような3つの対策案を設定。

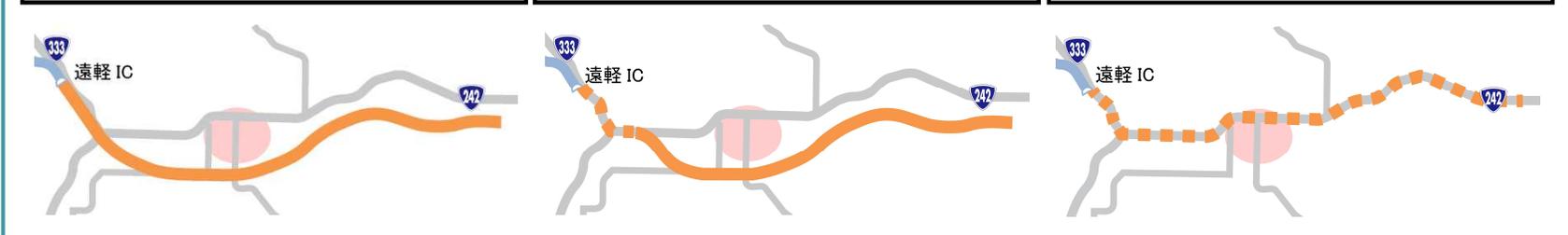
政策目標	安全かつ効率的な物流ルート確保による、地域を支える基幹産業の生産性の向上の支援	定時性や速達性の確保による、周遊観光促進の支援	救急搬送の速達性・安定性向上による、地域の安心できる暮らしの支援	災害発生時の国道の機能確保
------	---	-------------------------	----------------------------------	---------------

政策目標達成に必要な機能	<ul style="list-style-type: none"> <li>○紋別港から主要物流拠点である苫小牧港、北見市～紋別市間の速達性が高い道路</li> <li>○線形不良区間や信号交差点を回避し、安全・円滑に輸送できる道路</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○観光客宿泊拠点である旭川等の地域外から遠紋地域への連結性向上、地域内の観光地間のアクセス性が高い道路</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○3次医療機関がある北見市、2次医療機関がある遠軽町までの速達性が高い道路</li> <li>○救急搬送時の安定性向上による患者の負担軽減</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○災害時にも機能する道路</li> <li>○代替路の確保</li> </ul>
--------------	--	---	---	---

配慮すべきポイント	<ul style="list-style-type: none"> <li>○地域への影響</li> <li>○環境への影響</li> <li>○工事中の影響</li> <li>○経済性</li> </ul>
-----------	---

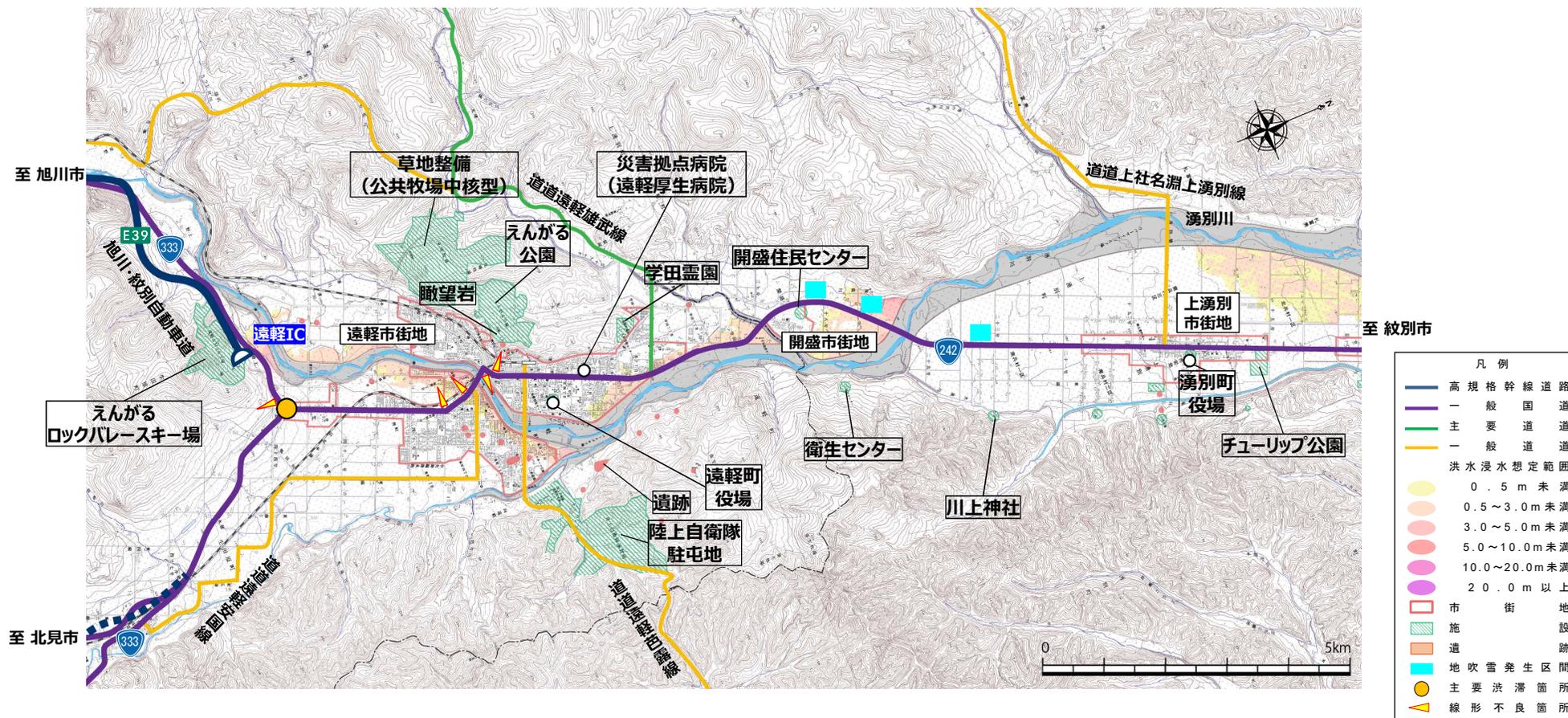
3つの対策案と整備イメージ	<p>【案①】別線整備ルート 別線整備により、現道課題の解消と時間短縮を図るルート</p>	<p>【案②】別線・一部現道改良ルート 別線整備・一部現道改良により、現道課題の解消を図るルート</p>	<p>【案③】現道改良ルート 現道を改良し、現道課題の解消を図るルート</p>
---------------	---	--	---

凡例	
	: 市街地・集落
	: 現道
	: 別線整備
	: 現道改良



# 対策案のコントロールポイント

○各対策案検討のコントロールポイントとしては、国指定名勝の瞰望岩等の自然環境、市街地や洪水浸水想定範囲等の課題箇所の回避を図れるルートを設定し、市街地へのアクセスに配慮します。

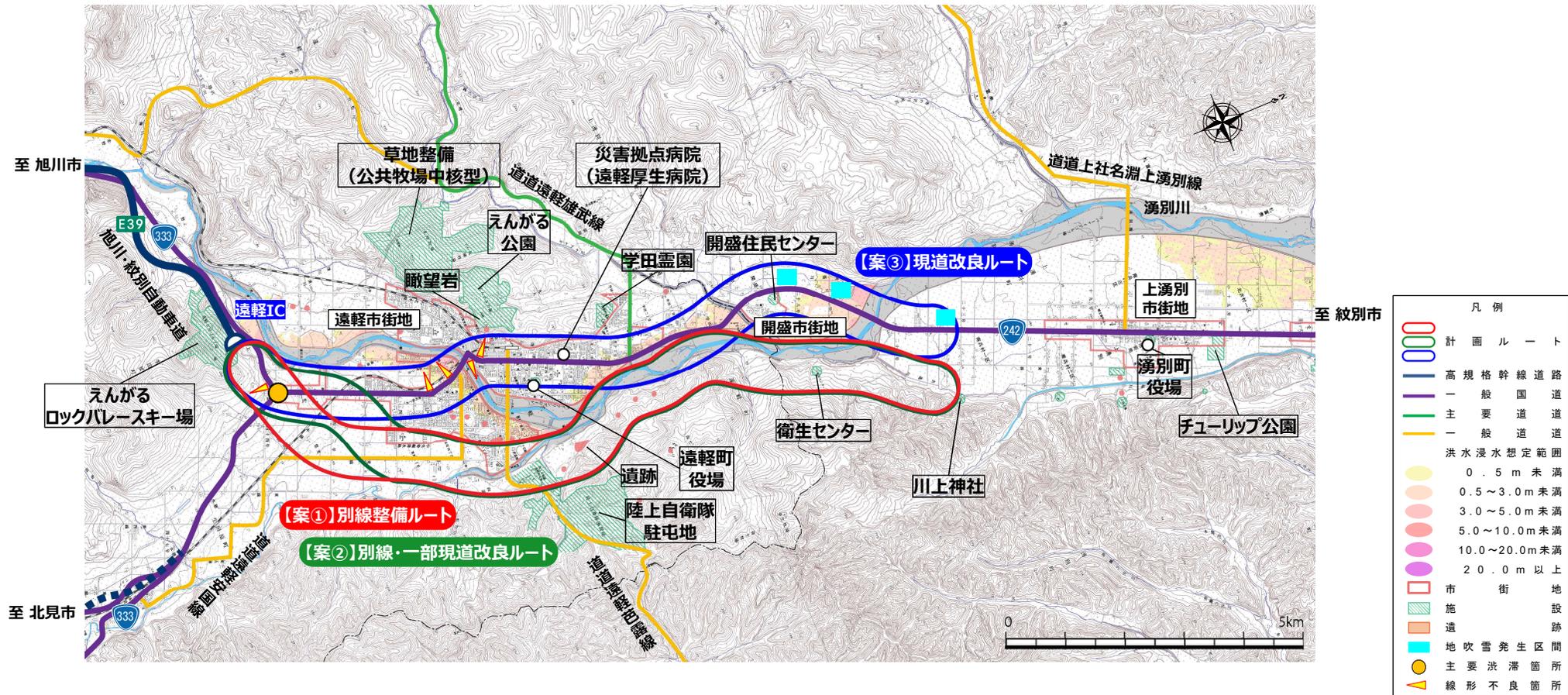


## 配慮するコントロールポイント

配慮すべき施設等 (社会的状況による要因)	<ul style="list-style-type: none"> <li>市街地(都市計画区域)や集落、農用地</li> <li>公共施設(役場、病院、霊園、神社、陸上自衛隊駐屯地等)</li> <li>史跡、遺跡</li> </ul>
配慮すべき事項 (自然環境)	<ul style="list-style-type: none"> <li>自然環境</li> <li>洪水浸水想定範囲、地吹雪発生区間</li> </ul>

# 対策案の比較

○政策目標達成に必要な機能とその他の配慮すべき事項を踏まえ、3つの対策案を設定しました。



## 案①：別線整備ルート

(別線整備により、現道課題解消と時間短縮を図るルート)

⇒

- 線形不良区間や信号交差点を全て回避し、安全性・安定性が向上するとともに、物流拠点・観光地間・救急医療機関への時間短縮効果大きい
- 災害時にも国道機能を発揮し、代替路の確保が可能

## 案②：別線・一部現道改良ルート

(別線整備・一部現道改良により、現道課題解消を図るルート)

⇒

- 線形不良区間や信号交差点を一部回避し、安全性・安定性がやや向上するが、物流拠点・観光地間・救急医療機関への時間短縮効果は比較案の中で中位
- 災害時にも国道機能を発揮するが、代替路の確保は部分的

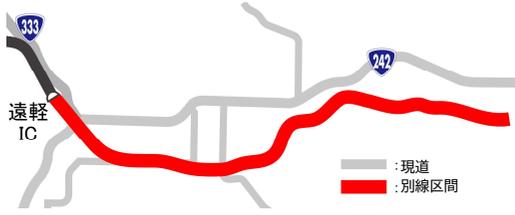
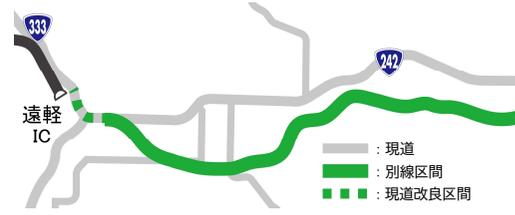
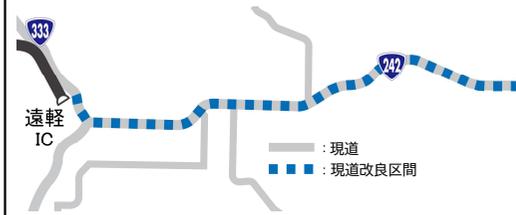
## 案③：現道改良ルート

(現道改良により、現道課題解消を図るルート)

⇒

- 信号交差点が残り、物流拠点・観光地間・救急医療機関への時間短縮効果は比較案の中で最も劣る
- 現道嵩上げ、防雪対策により、災害時にも国道機能を発揮するが、代替路は確保されない

# 対策案の比較表

対策案の考え方		【案①】別線整備ルート		【案②】別線・一部現道改良ルート		【案③】現道改良ルート	
		別線整備により、現道課題の解消と時間短縮を図るルート		別線整備・一部現道改良により現道課題の解消を図るルート		現道改良により、現道課題の解消を図るルート	
整備イメージ		 <p>遠軽 IC</p> <p>：現道 ：別線区間</p>		 <p>遠軽 IC</p> <p>：現道 ：別線区間 ：現道改良区間</p>		 <p>遠軽 IC</p> <p>：現道 ：現道改良区間</p>	
区間延長		約14km（自動車専用道路）		約14km（現道改良＋自動車専用道路）		約13km（現道改良）	
政策目標	安全かつ効率的な物流ルート確保による、地域を支える基幹産業の生産性の向上の支援	輸送時の速達性	<ul style="list-style-type: none"> <li>紋別港から主要物流拠点である苫小牧港の時間短縮効果（16分短縮※）、北見市～紋別市間の時間短縮効果（15分短縮※）が大きい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>紋別港から主要物流拠点である苫小牧港の時間短縮効果（12分短縮※）、北見市～紋別市間の時間短縮効果（12分短縮※）がやや小さい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>紋別港から主要物流拠点である苫小牧港の時間短縮効果（3分短縮※）、北見市～紋別市間の時間短縮効果（3分短縮※）が小さい</li> </ul>		
		輸送時の安全性	<ul style="list-style-type: none"> <li>線形不良区間を全て回避（5箇所→0箇所）</li> <li>信号交差点を全て回避（30箇所→0箇所）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>線形不良区間を一部回避（5箇所→1箇所）</li> <li>信号交差点を一部回避（30箇所→2箇所）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>線形不良区間に中央分離帯を設置し、走行性を向上</li> <li>信号交差点は現況と同じ（30箇所→30箇所）</li> </ul>		
	定時性や速達性の確保による、周遊観光促進の支援	周遊観光時の速達性	<ul style="list-style-type: none"> <li>観光客宿泊拠点である旭川市等の地域外から遠紋地域内の観光地間の移動時間の短縮効果が大きい（16分短縮※）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>観光客宿泊拠点である旭川市等の地域外から遠紋地域内の観光地間の移動時間の短縮効果がやや小さい（12分短縮※）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>観光客宿泊拠点である旭川市等の地域外から遠紋地域内の観光地間の移動時間の短縮効果が小さい（3分短縮※）</li> </ul>		
		高次医療機関への速達性	<ul style="list-style-type: none"> <li>遠軽町から北見市の3次医療機関への時間短縮効果（10分短縮※）が大きい</li> <li>遠軽町の2次医療機関への60分圏カバー人口の増加が大きい（遠紋地域の60分圏カバー人口率 整備前：55%⇒整備後：76%※）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>遠軽町から北見市の3次医療機関への時間短縮効果（6分短縮※）がやや小さい</li> <li>遠軽町の2次医療機関への60分圏カバー人口の増加が大きい（遠紋地域の60分圏カバー人口率 整備前：55%⇒整備後：76%※）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>遠軽町から北見市の3次医療機関への時間短縮効果（3分短縮※）が小さい</li> <li>遠軽町の2次医療機関への60分圏カバー人口の増加がやや小さい（遠紋地域の60分圏カバー人口率 整備前：55%⇒整備後：64%※）</li> </ul>		
	救急搬送の速達性・安定性向上による、地域の安心できる暮らしの支援	救急搬送の安定性	<ul style="list-style-type: none"> <li>速度の安定性低下を招く信号交差点、線形不良区間を回避し、搬送患者の負担を軽減（信号交差点30箇所→0箇所、線形不良区間5箇所→0箇所）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>速度の安定性低下を招く信号交差点、線形不良区間を一部回避し、搬送患者の負担をやや軽減（信号交差点30箇所→2箇所、線形不良区間5箇所→1箇所）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>速度の安定性低下を招く信号交差点、線形不良区間を回避しないため、搬送患者の負担の軽減は困難（信号交差点30箇所→30箇所、線形不良区間5箇所→5箇所）</li> </ul>		
		災害発生時の国道の機能確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>洪水浸水想定区域、地吹雪発生区間を回避し、国道機能を確保可能（洪水浸水想定区域4km→0km、地吹雪発生区間3箇所→0箇所）</li> <li>全線別線にて整備することで代替路の確保が可能</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>洪水浸水想定区域、地吹雪発生区間を回避し、国道機能を確保可能（洪水浸水想定区域4km→0km、地吹雪発生区間3箇所→0箇所）</li> <li>一部現道を改良するため、部分的に代替路の確保が可能</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>洪水浸水想定区域、地吹雪発生区間を回避し、国道機能を確保可能（洪水浸水想定区域4km→0km、地吹雪発生区間3箇所→0箇所）</li> <li>全線現道を改良するため、代替路が確保されない</li> </ul>		
	配慮すべき事項	地域への影響	家屋や土地利用への影響	<ul style="list-style-type: none"> <li>市街地を回避するため、沿道家屋、土地利用等への影響は小さい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>市街地を回避するため、沿道家屋、土地利用等への影響は小さい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>市街地を通過するため、沿道家屋、土地利用への影響が大きい</li> </ul>	
		環境への影響	自然環境への影響	<ul style="list-style-type: none"> <li>山地部を通過するが、地形に沿った道路とすることで、地形改変面積を抑制することが可能</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>山地部を通過するが、地形に沿った道路とすることで、地形改変面積を抑制することが可能</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>現道を改良するため、自然環境への影響は小さい</li> </ul>	
工事中の影響		工事中の現道交通への影響	<ul style="list-style-type: none"> <li>郊外部の別線整備のため、工事中の現道交通への影響は小さい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>国道接続部で、通行規制や沿道利用の現道交通への影響が発生</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>国道の通行規制や沿道利用の現道交通への影響が非常に大きい</li> </ul>		
経済性		経済性・概算事業費	<ul style="list-style-type: none"> <li>別線整備の延長が長く、案②より経済性に劣る</li> </ul> <p>約240～300億円</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>別線整備の延長が短く、経済性に優れる</li> </ul> <p>約210～270億円</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>現道改良のため、用地費、補償費が大きく、案①・案②より経済性に劣る</li> </ul> <p>約350～430億円</p>		

※上記の時間短縮等の数値については、概略延長に対して設計速度を用いて試算した値であり、今後の詳細なルート・構造検討や接続位置等により変更となる場合があります。

# 旭川・紋別自動車道 遠軽～上湧別間に関するアンケート

回答は返信用ハガキに記入し、令和2年11月13日（金）までに郵便ポストに投函してください。

## ■ 質問内容・回答欄

問1 対策案（ルート帯案）の検討にあたって、どの項目を重視すべきと思いますか？

次のA～Fの項目それぞれについて、「特に重視すべき」～「重視する必要はない」の当てはまる箇所1つに○をつけてください。

項目	特に重視すべき	やや重視すべき	どちらともいえない	あまり重視する必要はない	重視する必要はない
A 道央方面や北見方面などの物流拠点への所要時間の短縮	1	2	3	4	5
B 急カーブ、信号交差点の回避	1	2	3	4	5
C 宿泊拠点、観光地間の移動時間の短縮	1	2	3	4	5
D 北見市の医療機関への搬送時間の短縮	1	2	3	4	5
E 遠軽町の医療機関への搬送時間の短縮	1	2	3	4	5
F 災害時の道路機能の確保・代替路の確保	1	2	3	4	5

問2 対策案（ルート帯案）の比較にあたって、どのようなことに配慮して計画すると良いと思いますか？

次のA～Dの項目それぞれについて、「特に配慮すべき」～「配慮する必要はない」の当てはまる箇所1つに○をつけてください。

項目	特に配慮すべき	やや配慮すべき	どちらともいえない	あまり配慮する必要はない	配慮する必要はない
A 家屋や施設など地域への影響	1	2	3	4	5
B 自然環境への影響	1	2	3	4	5
C 工事中の交通規制による影響	1	2	3	4	5
D 建設に要する費用	1	2	3	4	5

問3 インターチェンジとのアクセスを検討するにあたって、どのようなことに配慮すべきと思いますか？

次のA～Dの項目それぞれについて、「特に配慮すべき」～「配慮する必要はない」の当てはまる箇所1つに○をつけてください。

項目	特に配慮すべき	やや配慮すべき	どちらともいえない	あまり配慮する必要はない	配慮する必要はない
A 市街地から円滑にアクセスできること	1	2	3	4	5
B 北見方面に円滑にアクセスできること	1	2	3	4	5
C 道の駅などの観光拠点に円滑にアクセスできること	1	2	3	4	5
D 高次医療機関に円滑にアクセスできること	1	2	3	4	5

問4 その他、配慮すべき項目や、今後の道路整備についてのご意見等がありましたら、ご自由にお書きください。

回答は返信はがきに記入をお願いします

# 旭川・紋別自動車道 遠軽～上湧別間に関するアンケート

- ・回答は同封の郵便はがきにご記入ください。
- ・回答用の郵便はがきは、切手を貼らずに最寄りの郵便ポストへ投函してください。  
なお投函は、令和2年11月13日（金）までをお願いします。
- ・インターネットによる回答も可能になっておりますので、下記アドレスからアクセスしてください。  
旭川・紋別自動車道（遠軽～上湧別） 道路計画に関する意見募集 Web回答用ページ  
URL [https://www.hkd.mlit.go.jp/ab/douro\\_keikaku/icrceh000000557q.html](https://www.hkd.mlit.go.jp/ab/douro_keikaku/icrceh000000557q.html)  
※網走開発建設部ホームページからもアクセス可能です。



## アンケートの記入例

郵便はがき



0 9 3 8 5 4 4

北海道網走市 新町2丁目6番1号  
網走開発建設部 道路計画課

差出有効期限  
令和3年3月31  
日まで  
(切手不要)

旭川・紋別自動車道（遠軽～上湧別）  
道路計画に関する意見募集係 行

## 見本

■あなた自身のことについて（記入または該当する番号に○印）

住所 〒000-0000 北海道 紋別市 郡 遠軽町 村

性別 ①男性 ②女性 年齢： 40 歳

職業 ①会社員 ②公務員 ③農業 ④漁業 ⑤林業 ⑥観光業  
⑦学生 ⑧主婦 ⑨物流・輸送 ⑩商業 ⑪工業 ⑫無職  
⑬その他（ ）

■自動車を運転する頻度を教えてください（該当する1つに○）

①毎日 ②回数回 ③月数回 ④ほとんど運転しない ⑤運転しない

■国道242号遠軽～上湧別間の利用頻度を教えてください（該当する1つに○）

①毎日 ②回数回 ③月数回 ④ほとんど利用しない ⑤利用したことがない

■遠軽～上湧別間の主な利用目的を教えてください（該当する全てに○）

①通勤・通学 ②通院 ③家事・買物 ④仕事（営業・運送等）  
⑤観光・レジャー ⑥その他（ ）

■前回の第1回アンケートに回答しましたか（どちらかに○）

①回答した ②回答していない

## 旭川・紋別自動車道（遠軽～上湧別）第2回アンケート回答欄

問1 対策案(ルート帯案)の検討にあたって、どの項目を重視すべきだと思いますか？  
該当するもの1つに○をつけて下さい。

	特に重視すべき	やや重視すべき	どちらともいえない	あまり重視する必要はない	重視する必要はない
A 道央方面や北見方面などの物流拠点への所要時間の短縮	①	2	3	4	5
B 急カーブ、信号交差点の回避	1	②	3	4	5
C 宿泊拠点、観光地間の移動時間の短縮	1	2	③	4	5
D 北見市の医療機関への搬送時間の短縮	1	2	3	④	5
E 遠軽町の医療機関への搬送時間の短縮	1	2	3	4	⑤
F 災害時の道路機能の確保・代替路の確保	①	2	3	4	5

問2 対策案(ルート帯案)の比較にあたって、どのようなことに配慮して計画すると良いと思いますか？ 該当するもの1つに○をつけて下さい。

	特に配慮すべき	やや配慮すべき	どちらともいえない	あまり配慮する必要はない	配慮する必要はない
A 家屋や施設など地域への影響	①	2	3	4	5
B 自然環境への影響	1	②	3	4	5
C 工事中の交通規制による影響	1	2	③	4	5
D 建設に要する費用	1	2	3	④	5

問3 インターチェンジとのアクセスを検討するにあたって、どのようなことに配慮すべきだと思いますか？ 該当するもの1つに○をつけて下さい。

	特に配慮すべき	やや配慮すべき	どちらともいえない	あまり配慮する必要はない	配慮する必要はない
A 市街地から円滑にアクセスできること	①	2	3	4	5
B 北見方面に円滑にアクセスできること	1	②	3	4	5
C 道の駅などの観光拠点に円滑にアクセスできること	1	2	③	4	5
D 高次医療機関に円滑にアクセスできること	1	2	3	④	5

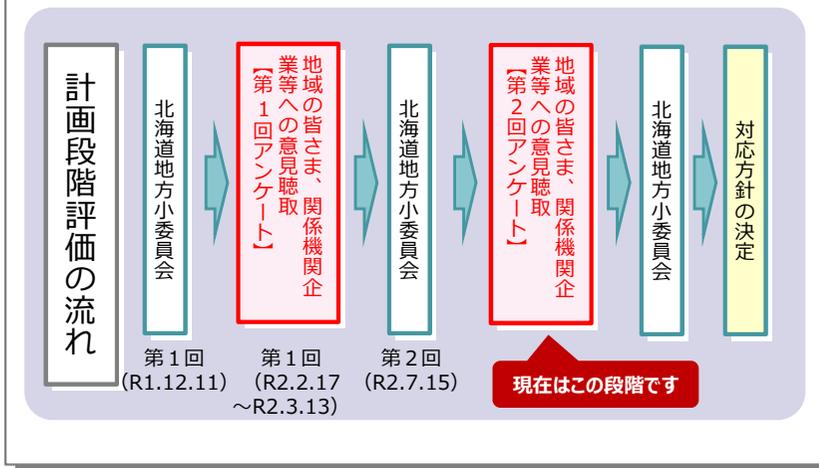
問4 その他、配慮すべき項目や、今後の道路整備についてのご意見等がありましたらご自由にお書きください。

.....

## ■アンケートは「計画段階評価」審議の参考意見となります。

国土交通省では、道路事業の透明性・効率性を高めるため、計画段階評価の取組を導入しています。

これは、道路の整備方針を地域の声（地域の皆様、道路利用者、関係団体等）を聞きながら、第三者委員会によって審議するものです。



## アンケートについてのお問い合わせ先

<調査主体>

北海道開発局 網走開発建設部 道路計画課  
旭川・紋別自動車道（遠軽～上湧別）  
道路計画に関する意見募集係

〒093-8544 網走市新町2丁目6番1号  
電話0152-44-6510

安全で快適な地域づくりのために  
みなさまのご意見をお待ちしております。



本調査は、オホーツク圏遠軽地域の道路計画について地域にお住まいの皆様や道路利用者のご意見を広くお聞きすることを目的とするものです。

そのため、回答用の郵便はがきに記入されたことは、この目的以外には使用いたしません。

回答いただいた個人に関する情報は、本人の同意なく第三者に開示・提供することはありません。

（法令により開示を求められた場合を除きます）